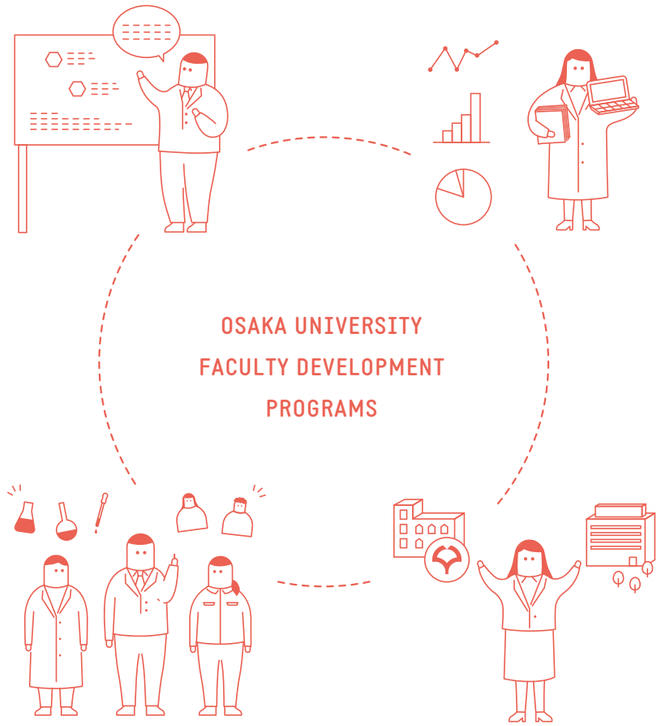
大阪大学教員のための

ファカルティ・ディベロップメント プログラムガイド



2023 年度

10 月～ 3 月

お問い合わせ先

各FDプログラムの詳細については、
開催部局にお問い合わせください。

大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

発行

大阪大学 FD 委員会

編集

大阪大学教育・学生支援部教育企画課総務係
大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部

大阪大学 全学教育推進機構
教育学習支援部

メッセージ

大阪大学教員の皆様へ

2020年に始まった新型コロナウイルス感染症の拡大は、本年5月に感染症法上の位置づけが5類に移行されました。この間、学生の学びを止めることのないよう円滑な授業実施を実現するため、新型コロナウイルス感染症への感染防止対策やメディア授業の準備など例年以上の対応にご協力いただきましたこと、心より感謝申し上げます。

このような経験によって、本学は、「いのち」と「くらし」を守るための強靭で持続可能な未来社会の創造を目指していくこと、そのためにこれまで以上に高等教育機関としての大学が優れた人材を育成し、社会に貢献していくことが重要であることを改めて認識しています。そのためには、教育を担う立場にある教員に高い教育・研究能力を備えることが必要であります。

本学は、2017年10月以降新たに採用された教員に対して、教育や研究に関する30時間の研修プログラムの受講を必須化しております。この取組によって、大学の社会に対する説明責任を果たすとともに、本学の各教員に、教員として必要となる能力を身につける権利を保証するものです。

もとより本プログラムガイドに掲載されているセミナーや研修自体は、新任教員だけではなく、全教員を対象として設計されています。また、アフターコロナに対応したプログラムも多数開催されています。本学の教育、研究、社学連携、マネジメントすべての領域で高いパフォーマンスを発揮するため、できるだけ多くの教員の皆様にご参加いただきたいと考えています。

概要

大阪大学ファカルティ・ディベロップメント研修プログラム

大阪大学はFD（ファカルティ・ディベロップメント）に積極的に取り組んでいます。本プログラムは、教員として必要な ①教育能力、②研究能力、③社学連携能力、④マネジメント能力の４つのカテゴリーに分けて整理されています。伸ばしたい能力にあわせてプログラムガイドをご活用ください。

教育能力
開発プログラム

教育技法や教材作成方法、評価方法、学内の授業支援システム（CLE）の操作方法、多様な学生への理解など、阪大生の学習を促すための授業設計に関するプログラムです。

研究能力
開発プログラム

学術情報の迅速かつ効率的な収集方法や発信方法、厳守すべき研究倫理など、研究を行う上で必要な能力開発を目指すプログラムです。

マネジメント能力
開発プログラム

薬品や廃液の取扱など安全衛生に関わる内容や、各種コンプライアンスに関わる内容など、組織の管理運営能力の開発を目指すプログラムです。

社学連携能力
開発プログラム

緒方洪庵が開いた適塾や大阪大学の歴史など本学への理解を深めるプログラムや、実社会と連携した教育や研究の進め方についてのプログラムです。

新任教員の皆様へ

本学では、従来から教育指導・学習支援・学生支援能力の向上を図り、質の高い教育・学生支援活動の維持を目的として、FD（ファカルティ・ディベロップメント）に積極的に取り組んできました。これに加えて、本学へ新規採用となった教員の皆様に、本学の教員として身につけておくべき基本的な知識やスキルを習得する機会を提供するため、新任教員研修を必須化し、本学の教育、研究、社学連携、学内運営に関する取組のさらなる向上を目指しています。

アフターコロナの時代を迎えて、大学の在り方も大きく変わろうとしています。本学では、教職員及び学生の安心・安全及び教育・研究の質の確保を最優先として様々な取組を行っています。

本学へ新規採用となった講師・助教等の教員の皆様には、このプログラムガイドを参考に、全学及び各部局が実施する各種教員向け研修を採用後3年間で30時間受講していただき、教育、研究、社学連携及びマネジメント能力の習得に努めてください。

2023年度後期のFD研修でも多岐にわたるプログラムが開講されます。本学の教員として教育研究に携わるうえで有益なものですので、積極的な受講をお願いします。

理事・副学長（教育担当）
田中敏宏

研修プログラム受講必須時間数

新任教員の皆さんは採用後３年間で 30 時間のプログラムを受講してください。
研修プログラムは分野ごとに４つのカテゴリーに分かれております。

〈各プログラムの受講必須時間〉

- ▶ 教育能力 開発プログラム …… 10時間以上
- ▶ 研究能力 開発プログラム …… 4 時間以上
- ▶ 社学連携能力 開発プログラム
- ▶ マネジメント能力 開発プログラム …… あわせて6 時間以上

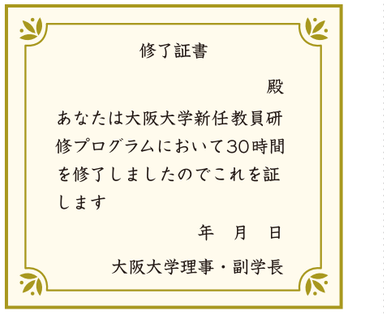
※研修プログラムの受講時間数は、学内ポータルサイト「マイハンダイ」内「大阪大学CLE(授業支援システム)」の「コミュニティページ」にて確認することができます。

「未来の大学教員養成プログラム」等プレFDを修了した方へ

本学及び他大学においてプレFDプログラム（大学院生を対象とした教育能力開発プログラム）を修了した方は、修了プログラム等の内容に応じて、左記の研修プログラムの受講必須時間数に算入することができます。
詳細については、所属部局の事務にお問合せください。

新任教員研修の修了証書

上記の受講時間数を満たした場合は、新任教員研修の修了証を発行します。


修了証書

殿

あなたは大阪大学新任教員研修プログラムにおいて30時間を修了しましたのでこれを証します

年　月　日

大阪大学理事・副学長

大阪大学全学FDプログラム受講証明制度

大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部（旧：教育学習支援センター）では、2014 年度から全学 FD プログラムの受講証明制度を実施しています。教育学習支援部では、受講者の申し出に応じて、当部で提供しているプログラムに関して30時間ごとに受講証明書を発行します（上限 120 時間）。
詳しくは、こちら　→　https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_program/

研修プログラム一覧〈令和５年度下期(2023.10 ～ 2024.3)通年開催分〉

※掲載内容は８月末時点の情報です。
最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」（FD 関係）にてご確認ください。

カテゴリ	掲載ページ	対象者の限定	研修題目（研究テーマ／タイトル）	研修形式	日時	時間数	募集定員	使用言語	開催部局
10 月									
教育	P. 6	–	本学における障がい学生支援	オンライン	10 月 5 日 12:15-13:30	1.25	制限なし	日本語	キャンパスライフ健康支援・相談センター
教育	P. 6	–	研究室不登校の学生へのアプローチについて	対面 オンライン	10 月 17 日 13:30-15:00	1.5	対面：30 名 オンライン：制限なし	日本語	工学研究科
教育	P. 6	–	研究室・ゼミ指導で活かせる！「今どき」の学生を理解するワークショップ：学生と開発したボードゲームを使って	対面	10 月 18 日、23 日 15: 00-1 7:00	2	各 20 名	日本語	人間科学研究科
教育	P. 7	–	アクティブ・ラーニングを取り入れた授業デザイン	オンライン	10 月 26 日 15:10-16:40	1.5	制限なし	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
社学連携	P. 19	–	新任教員向け講義＋適塾見学会～阪大の歴史を辿る～	対面	10 月 27 日 10:30-11:30	1	各回 20 名	日本語	適塾記念センター
研究	P. 15	–	著作権入門セミナー～他人事では済まされない著作権の話～	オンライン	10 月 28 日 13:00-16:15	3	20 名	日本語	知的基盤総合センター
研究	P. 15	–	研究室の教育指導	オンライン	10 月 31 日 13:00-15:00	2	制限なし	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
11 月									
マネジメント	P. 21	○	情報科学研究科 FD・SD研修	対面	11 月 2 日 14:50-16:30	1.67	100 名	日本語	情報科学研究科
教育	P. 7	–	傾聴について	対面	11 月 7 日 13:00-14:30	1.5	20 名	日本語	キャンパスライフ健康支援・相談センター
社学連携	P. 19	–	新任教員向け講義＋適塾見学会～阪大の歴史を辿る～	対面	11 月 8 日 10:00-11:00	1	各回 20 名	日本語	適塾記念センター
研究	P. 15	–	研究室の教育指導	オンライン	11 月 8 日 15:00-17:00	2	制限なし	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
研究	P. 15	○	令和５年度 研究教育フォーラム	対面	11 月 9 日 15:30-17:30	2	70 名	日本語	文学部
教育	P. 7	–	学生のこころへの関わり方	対面 オンライン	11 月 15 日 13:30-15:00	1.5	対面：30 名 オンライン：制限なし	日本語	工学研究科
マネジメント	P. 21	○	安全保障輸出管理に関する説明会	対面	11 月 16 日 9:30-10:00	0.5	100 名	日本語	接合科学研究所
マネジメント	P. 21	○	人文学研究科ハラスメント防止研修会	対面	11 月 16 日 15:10-16:10	1	制限なし	日本語	人文学研究科
社学連携	P. 19	–	大阪大学の歴史	オンライン	11 月 22 日 15:10-16:40	1.5	50 名	日本語	アーカイブズ
教育	P. 7	–	令和６年度版シラバスの書き方	オンライン	11 月 22 日、28 日 各日13:00-15:00	2	制限なし	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P. 8	–	わかりやすく記憶に残る講義法	オンライン	11 月 22 日、28 日 各日15:30-17:30	2	制限なし	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P. 8	–	ストレスの弊害と対処法(中医学的視点から)	対面 オンライン	11 月 29 日 13:30-16:00	2.5	対面：30 名 オンライン：制限なし	日本語	工学研究科
12 月									
社学連携	P. 19	–	大阪大学総合学術博物館の役割とその活用方法	対面	12 月 4 日 13:30-15:00	1.5	20 名	日本語	総合学術博物館
教育	P. 7	–	アクティブ・ラーニングを取り入れた授業デザイン	オンライン	12 月 14 日 13:30-15:00	1.5	制限なし	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P. 8	–	授業における生成ＡＩの活用法	対面	12 月 21 日 16:50-18:20	1.5	25 名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P. 9	○	学生を思考にいざなうレポートー AIの時代を迎えて	対面	12 月 21 日 17:00-18:00	1	50 名	日本語	人文学研究科
3 月									
マネジメント	P. 21	○	文学部ハラスメント防止講習会	対面	3 月 7 日 13:00-14:00	1	70 名	日本語	人文学研究科・文学部
教育	P. 9	○	国際交流科目担当教員及びTA予定者対象 オリエンテーション並びにFD研修	オンライン	3 月 11 日 13:30-15:00	1.5	20 名	日本語	国際教育交流センター
複数月開催									
教育	P. 9	–	授業づくりワークショップ	オンライン	12 月、3 月 (2 日間 日程未定) 各日10 : 00 - 18 : 00	20	16 名 （最小開催人数 4 名）	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
未定									
マネジメント	P. 22	–	URA（University Research Administrator）と 研究者のキャリア形成の接点を考える	オンデマンド	未定	1	制限なし	日本語	経営企画オフィス URA 部門
研究	P. 15	–	STEM コンピューティング・プラットフォーム Mathematica 講習会	対面 オンライン	未定	2	100 名程度	日本語	サイバーメディアセンター
マネジメント	P. 22	–	メンタルヘルス講習会	未定	未定	未定	未定	日本語	安全衛生管理部／キャンパスライフ健康支援・相談センター
マネジメント	P. 22	–	大阪大学化学薬品管理支援システム(OCCSIV)の利用について	対面 オンライン	未定	1	未定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P. 23	–	実験系廃液・排水の取扱い	対面 オンライン	未定	1	未定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P. 23	–	非化学系のための化学薬品取扱講習	対面 オンライン	未定	1.5	未定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P. 23	–	詳解：化学物質安全取扱講習	対面 オンライン	未定	1.5	未定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P. 24	–	高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 （コアファシリティ機構低温科学支援部門豊中分室編）	対面 オンライン	未定	1.5	未定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P. 24	–	高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 （コアファシリティ機構低温科学支援部門吹田分室編）	対面 オンライン	未定	1.5	未定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P. 24	–	大阪大学高圧ガス管理支援システム(OGCS)利用講習	対面 オンライン	未定	1	未定	日本語	安全衛生管理部

カテゴリ	掲載ページ	対象者の限定	研修題目（研究テーマ／タイトル）	研修形式	日時	時間数	募集定員	使用言語	開催部局
未定									
教育	P. 10	○	高等司法研究科授業見学会	対面	10 月 24 日～ 11 月 6 日（予定）	各回 1.5	各回 数名程度	日本語	高等司法研究科
マネジメント	P. 25	○	蛋白研防災安全講習会	オンデマンド	10 月頃(日程未定)	1	200 名	日本語	蛋白質研究所
社学連携	P. 20	–	アートを通した社会との共創－中之島芸術センターの活用	対面	10 月～ 12 月頃 (日程未定)	1.5	15 名	日本語	中之島芸術センター
教育	P. 10	○	高等司法研究科FD講演会 （外部講師によるモデル授業、意見交換会）	対面	10月~1月に予定	3	未定	日本語	高等司法研究科
教育	P. 10	–	大阪大学ファカルティ・ディベロップメントフォーラム (FD フォーラム)	オンデマンド	10 月頃 -3 月	2.5	制限なし	日本語	ファカルティ・ディベロップメント委員会
マネジメント	P. 25	–	同和問題(研修題目未定)	オンライン	11 月 -12 月 の間で予定	2	制限なし	日本語	人権問題委員会
マネジメント	P. 25	○	ハラスメント防止に関する講習会	対面	11 月～2 月 14:00-15:30	1.5	50 名	日本語	産業科学研究所
マネジメント	P. 25	–	大学における自律的な化学物質管理に向けた講習	オンデマンド	年内(未定)	1.5	制限なし	日本語	安全衛生管理部
教育	P. 10	–	ポスドク・博士課程学生のキャリア・就職支援【知識編】	オンデマンド	未定～2 月末	1	制限なし	日本語	キャリアセンター
教育	P. 11	–	ポスドク・博士課程学生のキャリア・就職支援【指導編】	オンデマンド	未定～2 月末	1	制限なし	日本語	キャリアセンター
教育	P. 11	–	障がい学生のキャリア支援【修学支援編】 ～社会移行を見据えた修学支援とキャリア支援～	オンデマンド	未定～2 月末	1	500 名	日本語	キャリアセンター／キャンパスライフ健康支援・相談センター
教育	P. 11	–	障がい学生のキャリア支援【就労支援編】 ～職場への定着を見据えた精神・発達障がい者のキャリア支援～	オンデマンド	未定～2 月末	1	500 名	日本語	キャリアセンター／キャンパスライフ健康支援・相談センター
随時・定期開催									
研究	P. 16	○	RIMD FD seminar series: Academic English for RIMD Researchers	対面	随時	各回 1	制限なし	English	微生物病研究所
研究	P. 16	○	不正防止について	オンデマンド	適宜	0.33	制限なし	日本語／English	微生物病研究所／免疫学フロンティア研究センター
研究	P. 16	○	IST ランチセミナー	対面	毎週 1 回程度 12:00-13:00	各回 1	各回 20 名	日本語／English	情報科学研究科
研究	P. 16	○	生命機能研究科コロキウム（FBS コロキウム）	対面 オンライン	毎週火曜日 12:15-13:00	0.75	300 名	日本語／English	生命機能研究科
教育	P. 12	○	ＦＤ研修会	対面又は オンライン	隔月 1 回程度 （日程未定）	各回 1 程度	60 名 程度	日本語	蛋白質研究所
研究	P. 17	○	蛋白研コロキウム	対面又は オンライン	隔月 1 回程度 （日程未定）	各回 1 程度	60 名 程度	日本語	蛋白質研究所
研究	P. 17	○	IST イブニングセミナー	対面	隔月 1 回程度 17:00-18:00	各回 1	各回 20 名	日本語／English	情報科学研究科
社学連携	P. 20	○	IST ネットワーキングイベント	対面 オンライン	隔月 （年間 5 回）	各回 1.5	各回 30 名	日本語	情報科学研究科
研究	P. 17	–	STEM コンピューティング・プラットフォーム Maple 講習会	オンデマンド	～2 月 29 日	3	300 名程度	日本語	サイバーメディアセンター
教育	P. 12	–	授業支援システム （CLE）入門講座	オンデマンド	～ 3 月 31 日	1.5	制限なし	日本語	サイバーメディアセンター
教育	P. 12	–	授業支援システム （CLE）応用講座	オンデマンド	～ 3 月 31 日	2.5	制限なし	日本語	サイバーメディアセンター
教育	P. 12	–	シラバスの書き方	オンデマンド	～ 3 月 31 日	3	制限なし	日本語／English Sub	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P. 13	–	学習評価	オンデマンド	～ 3 月 31 日	3	制限なし	日本語／English Sub	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P. 13	–	オンラインビデオ教材作成法（Echo編）	オンデマンド	～ 3 月 31 日	1.5	制限なし	日本語	スチューデント・ライフサイクルサポートセンター サイバーメディアセンター 全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P. 13	–	教育のための動画・メディア制作入門	オンデマンド	～ 3 月 31 日	1.5	制限なし	日本語	スチューデント・ライフサイクルサポートセンター
研究	P. 17	–	オープンアクセスを巡る状況と 大阪大学におけるオープンアクセス支援	オンデマンド	～ 3 月 31 日	1	制限なし	日本語	附属図書館／経営企画オフィス URA 部門
マネジメント	P. 26	○	大阪大学新任教職員研修（大学理解研修）	オンデマンド	～ 3 月 31 日	2	制限なし	日本語	総務部 人事課 人材育成係
マネジメント	P. 26	○	産研メンター制度実施に向けての講演会	オンデマンド	～ 3 月 31 日	2	制限なし	日本語	産業科学研究所
研究	P. 18	–	オープンサイエンス時代における 研究データマネジメントの基礎について学ぶ	オンデマンド	～ 3 月 31 日	1	制限なし	日本語	オープンサイエンス推進室
社学連携	P. 20	–	映画『洪庵と1,000人の若ものたち』鑑賞と解説	オンデマンド	～ 3 月 31 日	1.5	制限なし	日本語	適塾記念センター
マネジメント	P. 22	–	大阪大学化学薬品管理支援システム(OCCSIV)の利用について	オンデマンド	～ 3 月 31 日	1	制限なし	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P. 23	–	実験系廃液・排水の取扱い	オンデマンド	～ 3 月 31 日	1	制限なし	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P. 23	–	非化学系のための化学薬品取扱講習	オンデマンド	～ 3 月 31 日	1.5	制限なし	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P. 23	–	詳解：化学物質安全取扱講習	オンデマンド	～ 3 月 31 日	1.5	制限なし	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P. 24	–	高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 （コアファシリティ機構低温科学支援部門豊中分室編）	オンデマンド	～ 3 月 31 日	1.5	制限なし	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P. 24	–	高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 （コアファシリティ機構低温科学支援部門吹田分室編）	オンデマンド	～ 3 月 31 日	1.5	制限なし	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P. 24	–	大阪大学高圧ガス管理支援システム(OGCS)利用講習	オンデマンド	～ 3 月 31 日	1	制限なし	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P. 26	–	電気コンセントと電気配線の安全講習	オンデマンド	～ 3 月 31 日	1	制限なし	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P. 26	–	新入教職員安全衛生講習会	オンデマンド	～ 3 月 31 日	1.5	制限なし	日本語	安全衛生管理部
研究	P. 18	–	アドバンストセミナー	対面 オンライン	毎月 1 回 （3 月を除く） 16:00-17:00	各回 1	対面：未定 オンライン：制限なし	日本語／English	微生物病研究所／免疫学フロンティア研究センター
研究	P. 18	○	微研集談会	オンライン	毎月第４火曜日 （12月、1月を除く） 16:00-17:00	各回 1	制限なし	日本語／English	微生物病研究所／免疫学フロンティア研究センター
教育	P. 14	–	教育のための実践型動画制作	オンデマンド	11 月 1 日～ 3 月 31 日	1.5	制限なし	日本語	スチューデント・ライフサイクルサポートセンター

教育能力
開発プログラム

教育技法や教材作成方法、評価方法、学内の授業支援システム(CLE)の操作方法、多様な学生への理解など、阪大生の学習を促すための授業設計に関するプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催２週間前までにご連絡ください。
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。

本学における障がい学生支援

制限なし 1.25時間 日本語 オンライン

講師：望月直人(キャンパスライフ健康支援・相談センター 准教授)

オンライン **10月5日 12:15-13:30**

〈キーワード〉合理的配慮、説明

〈概要〉差別解消法に基づく法的義務として、本学におけるコンプライアンスとして障がい学生支援に求められる知識や障がいのある学生への基本的対応を身につけることを目的とする。ダイバーシティ＆インクルージョンが推進される本学において、障がいをはじめ多様な人材で構成される大学の今後のあり方についても考える機会としたい。

《問合先：キャンパスライフ健康支援・相談センター 庶務係 ✉campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp》
《申込方法：1か月程度前に全学掲示板に記載のICHOフォームにて事前申込をお願いします。
新任教員研修プログラムのポイントが必要な方は申込時に大阪大学個人IDをお知らせください》

研究室不登校の学生へのアプローチについて

対面：30名 オンライン：制限なし 1.5時間 日本語 対面 オンライン

講師：根岸和政(工学研究科 講師)

吹田 オンライン **10月17日 13:30-15:00**

〈キーワード〉研究室不登校の要因、人間の行動原理、共感、レジリエンス、ストレス

〈概要〉研究室不登校に陥ると、孤立無援感に苛まれ復帰することが容易でないことから、早めの対処が望まれる。また、研究室の運営、チームワークにも支障をきたすばかりか、教職員の負担も増加する。この観点から基本的な対応法を紹介する。

《問合先：工学研究科 コンプライアンス室 レジリエンス教育部門 工学部・工学研究科相談室
✉negishi@compliance.eng.osaka-u.ac.jp》
《申込方法：工学研究科 総務課コンプライアンス推進室までメールでお申し込みください。
✉kou-soumu-compliance@office.osaka-u.ac.jp》

研究室・ゼミ指導で活かせる！「今どき」の学生を理解するワークショップ：学生と開発したボードゲームを使って

各20名 2時間 日本語 対面

講師：萩原広道(人間科学研究科 助教)
佐藤浩章(国際共創大学院学位プログラム推進機構 教授)

豊中 **10月18日 15:00-17:00**
吹田 **10月23日 15:00-17:00**

〈キーワード〉学生理解、疑似体験、ボードゲーム、キャリア教育、リフレクション

〈概要〉学生を理解することは、教育の根幹といえます。しかし、かつて学生だったにもかかわらず、教職員として大学に関わる中で学生だった頃の感覚は次第に失われてしまいます。本ワークショップでは、学生と共に開発中の「大学生を体験する」ボードゲームをプレイすることで、現代の大学生活を疑似的に体験し、学生理解を深めることを目指します。加えて、かつて学生だった頃の自分と現代の学生とをプレイのなかで比較対照することで、自己の「学生観」の更新を試みます。本ボードゲームは、学生に降りかかるさまざまなイベントやハプニングを他プレイヤーと共有しながら遊べるため、気軽な雰囲気のなかで学生の悩みに触れたり、キャリアプランを聴取したりすることが可能です。メンタルヘルスケアを念頭においた面談やキャリア指導のツールとしての活用例もご紹介できればと思います。

《問合先：人間科学研究科 比較発達心理学 研究分野 ✉hiromichi.h.hus@osaka-u.ac.jp》
《申込方法：下記フォームより事前にお申し込みください。先着順となります。
(https://forms.office.com/r/m9v6KdhGzr)》

定員
受講時間
使用言語
研修形式

アクティブ・ラーニングを取り入れた授業デザイン

制限なし 1.5時間 日本語 オンライン

講師：村上正行(全学教育推進機構 教授)
長岡徹郎(全学教育推進機構 助教)

オンライン **10月26日 15:10-16:40、12月14日 13:30-15:00**

〈キーワード〉アクティブ・ラーニング、教育技法

〈概要〉アクティブ・ラーニングとは、学生の学習意欲の向上や汎用的能力の育成に有効な教授・学習法の総称です。本研修では、大学におけるアクティブ・ラーニングの導入背景や、対面授業やオンライン授業に活用できるアクティブ・ラーニングの手法について説明します。また、学生の主体的な学習活動を促す様々な教育技法を組み合わせてアクティブ・ラーニング型授業をデザインする方法についても考えます。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ✉tlsc@office.osaka-u.ac.jp》
《申込方法：全学教育推進機構教育学習支援部のウェブサイト (http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/) にて、
開催前日の 15 時までに申し込みください》

傾聴について

20名 1.5時間 日本語 対面

講師：広木芽枝(キャンパスライフ健康支援・相談センター 講師)

豊中 **11月7日 13:00-14:30**

〈キーワード〉傾聴、学生とのコミュニケーション

〈概要〉学生への研究指導や研究室運営において、教員と学生の間で双方向のコミュニケーションが円滑に行われることが望ましいと思われます。本研修では、心理相談においてカウンセラーが実践する「傾聴」について学びつつ、コミュニケーションの土台となる信頼関係を培うヒントを得ていただければと思います。

《問合先：キャンパスライフ健康支援・相談センター 庶務係 ✉campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp》
《申込方法：1か月程度前に全学掲示板に記載のICHOフォームにて事前申込をお願いします。
新任教員研修プログラムのポイントが必要な方は申込時に大阪大学個人IDをお知らせください》

学生のこころへの関わり方

対面：30名 オンライン：制限なし 1.5時間 日本語 対面 オンライン

講師：根岸和政(工学研究科 講師)

吹田 オンライン **11月15日 13:30-15:00**

〈キーワード〉共感、レジリエンス、学生指導上の留意点

〈概要〉人間の行動原理、学生の心情、その関わり方について紹介する。

《問合先：工学研究科 コンプライアンス室 レジリエンス教育部門 工学部・工学研究科相談室
✉negishi@compliance.eng.osaka-u.ac.jp》
《申込方法：工学研究科 総務課コンプライアンス推進室までメールでお申し込みください。
✉kou-soumu-compliance@office.osaka-u.ac.jp》

令和６年度版シラバスの書き方

制限なし 2時間 日本語 オンライン

講師：佐藤浩章(国際共創大学院学位プログラム推進機構 教授)
長岡徹郎(全学教育推進機構 助教)

オンライン **11月22日、28日 各日13:00-15:00**

〈キーワード〉シラバス、授業設計、目的、目標、スケジュール、評価

〈概要〉シラバスは授業の設計図であり、授業の出発点です。そのシラバスの記載は十分に学生の学習を促すものになっているでしょうか。外部評価においても、そして教員の個人業績評価においても、シラバスの重要性は高まっています。本セミナーでは、来年度からフォーマットが変更されたシラバスの作成方法を身につけます。ぜひ新しいシラバスを使ってスタートしましょう。
＊参加者はご自身のシラバス（どれか１つ）を持参ください。ご自身のシラバスがない方は、専門領域に近い科目等のシラバスを１つご持参ください。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ✉tlsc@office.osaka-u.ac.jp》
《申込方法：全学教育推進機構教育学習支援部のウェブサイト (http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/) にて、
開催前日の 15 時までに申し込みください》

※掲載内容は8月末時点の情報です。
最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD 関係)にてご確認ください。

教育能力
開発プログラム

わかりやすく記憶に残る講義法

制限なし　2時間　日本語　オンライン

講師：佐藤浩章（国際共創大学院学位プログラム推進機構 教授）

オンライン　**11月22日、28日 各日15:30-17:30**

〈キーワード〉講義法、情報伝達、理解、記憶

〈概要〉授業中に「本当に伝わっているのかな？」と不安になることはありませんか。その不安を解消するために、講義法の基礎的な内容を学んでみませんか。講義法で大切なことは、学生が知識を理解し記憶するメカニズムを踏まえて、わかりやすく記憶に残るように教えることです。本プログラムではその理解を踏まえて、効果的な技法を習得することを目指します。学会発表や市民向け公開講座にも応用できる内容です。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部　tlsc@office.osaka-u.ac.jp》
《申込方法：全学教育推進機構教育学習支援部のウェブサイト(http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/)にて、開催前日の15時までに申し込みください》

ストレスの弊害と対処法（中医学的視点から）

対面：30名 2.5時間　日本語　対面
オンライン：制限なし　オンライン

講師：中本かよ（大阪漢方医学振興財団 理事長、医師）

吹田　オンライン　**11月29日 13:30-16:00**

〈キーワード〉ストレス・マネジメント、メンタルヘルスケア

〈概要〉まず、ストレスと健康との関係について学びます。その後、健康で更なる良い研究・教育を実践するための、ストレス・マネジメントの具体的な手法として、足助式医療體操について学びます。体験演習の都合上、動きやすい服装、履物でご参加頂けますようお願い申し上げます。

《問合先：工学研究科 コンプライアンス室 レジリエンス教育部門 工学部・工学研究科相談室
negishi@compliance.eng.osaka-u.ac.jp》
《申込方法：工学研究科 総務課コンプライアンス推進室までメールでお申し込みください。
kou-soumu-compliance@office.osaka-u.ac.jp》

授業における生成ＡＩの活用法

25名　1.5時間　日本語　対面

講師：浦田悠（全学教育推進機構 准教授）
長岡徹郎（全学教育推進機構 助教）
村上正行（全学教育推進機構 教授）

豊中　**12月21日 16:50-18:20**

〈キーワード〉生成AI、学習評価、レポート、ICT活用

〈概要〉本研修では、まずChat GPTに代表される生成AIの特徴、および教育現場における最新の動向を学びます。その上で、生成AIが授業デザインや学習評価にどのような影響を与える可能性があり、それをどのように活用できるかについて参加者で考えます。主にレポート課題を課す授業を担当されており、「まだChat GPTがどういうものかよくわからないので知りたい」「授業デザインや学習評価に役立つなら使ってみたい」というようなニーズをお持ちの方向けの内容です。
※受講の際は、Chat GPT（https://chat.openai.com/）のアカウントを事前に取得してください。
※パソコン（PC・Mac）をご持参ください。
※この研修は、2023年９月20日（水）実施の全学FDフォーラムにおける浦田による講演、および浦田・長岡による分科会をベースにした内容となります。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部　tlsc@office.osaka-u.ac.jp》
《申込方法：全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト（http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/）にて、開催前日の15時までに申し込みください》

定員
受講時間
使用言語
研修形式

限定 人文学研究科

学生を思考にいざなうレポートー AIの時代を迎えて

50名　1時間　日本語　対面

講師：成瀬尚志（大阪成蹊大学 准教授）

豊中　**12月21日 17:00-18:00**

〈キーワード〉エッセイ・ライティング、剽窃、参照、AI

〈概要〉近年、論文やレポート等での剽窃問題が学内で問題化しておりますので、学生に不正や剽窃に陥らない調査（文献・ウェブ上）やレポート執筆を指導するノウハウを新採の教員に学んでもらう機会をもちたいと考えております。回答例をウェブで入手し、加工してコピペしようという気にさせない課題を提示し、学生をみずからの思考に誘うことはできないか。講師の提言をもとに、考えてみたいと思います。

《問合先：人文学研究科 教育支援室 室長 山田雄三　yamada.yuuzou.hmt@osaka-u.ac.jp》
《申込方法：原則として開催部局内限定。他部局所属の教職員の参加については応相談》

限定 国際交流科目担当者及び国際交流科目に興味のある構成員

国際交流科目担当教員及びTA予定者対象 オリエンテーション並びにFD研修

20名　1.5時間　日本語　オンライン

講師：石倉佑季子（国際教育交流センター 准教授）

オンライン　**3月11日 13:30-15:00**

〈キーワード〉国際交流科目、英語による授業

〈概要〉毎年世界各国の協定校から多数の交換留学生が受講する国際交流科目は、その単位互換のため、授業の質保証が強く求められています。また英語で開講されること、本学の一般学生も同時に受講することなど、配慮や工夫が求められる場面も多くあります。そのため、国際交流科目特有の問題や悩みをテーマとして取り上げ、参加者同士で実践事例を共有しながら、英語による授業を実施する上で必要な知識やスキルを身につけることを目的としています。近年シラバスの整備や充実が求められており、シラバスをより具体化することで授業の質の向上に繋がると言われています。そこで今回は「国際交流科目のシラバスをブラッシュアップする～学生がわかりやすいシラバスとは～」というテーマでFDを行い、これまでのシラバスを見直す機会を設けることができたらと考えています。

《問合先：国際教育交流センター 短期プログラム開発研究チーム　oussep@office.osaka-u.ac.jp》
《申込方法：２月に国際交流科目担当教員宛に係る通知を予定。
メールにて申し込むこと（新任教員研修対象者は個人IDを記載のこと）》

授業づくりワークショップ

16名　20時間　日本語　オンライン
最小開催人数4名

講師：佐藤浩章（国際共創大学院学位プログラム推進機構 教授）
村上正行（全学教育推進機構 教授）
浦田悠（全学教育推進機構　准教授）
金賢眞（スチューデント・ライフサイクルサポートセンター 特任助教）
長岡徹郎（全学教育推進機構 助教）
楠本真二（全学教育推進機構／情報科学研究科 教授）

オンライン　**12月（2日間 日程未定）3月（2日間 日程未定）**
各日10：00 - 18：00

〈キーワード〉コースデザイン、学習者中心、シラバス、クラスデザイン、マイクロティーチング

〈概要〉本ワークショップでは、学習者中心の授業の設計方法を学んだうえで、ご自身のシラバスや授業のブラッシュアップを行います。対面授業をどのようにオンライン授業に移行していけば良いのか？オンライン授業と対面授業をどのように組み合わせたら良いのか？今回の授業づくりワークショップでは、通常の内容に加え、オンライン時代の授業づくりを検討します。専門家からのフィードバックをもらい、同じ悩みや不安を抱えた教員と改善のアイデアを練ることで、授業のさらなる質向上を目指します。単発で開催されているシラバス作成法、講義法、アクティブ・ラーニング、学習評価、ルーブリック評価の内容を集中的に学ぶことができるという点で効率的です。
※パソコン及び改善したいシラバスをご準備ください。※全課程修了後に修了証が授与されます。
※途中からの参加・退出はご遠慮ください。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部　tlsc@office.osaka-u.ac.jp》
《申込方法：全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト（http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/）にて、開催２週間前までに申し込みください》

※掲載内容は8月末時点の情報です。
最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」（FD 関係）にてご確認ください。

教育能力
開発プログラム

限定 法学系全教員

高等司法研究科授業見学会

各回数名程度 / 各回1.5時間 / 日本語 / 対面

講師：高等司法研究科 FD・教育企画委員会が選定した数名

豊中 **10月24日～11月6日（予定）**

〈キーワード〉説明、指示、パワーポイント、板書、配布資料、教室マネジメント

〈概要〉高等司法研究科FD・教育企画委員会が選定した授業に参加し、授業の進め方、教授方法、配布資料等を実際に見学・見聞することによって、各自の授業を改善する手がかりを得ます。これにより、学生の知識習得と理解向上のため、必要なスキルを習得し、教育能力を向上することを、目的とします。

《 問合先：高等司法研究科 教務係　houkou-kousikyoumu@office.osaka-u.ac.jp **》**
《 申込方法：９月以降､高等司法研究科授業担当教員､法学系新任教員に対するメール募集・申込 **》**

限定 法学系全教員

高等司法研究科FD講演会（外部講師によるモデル授業、意見交換会）

未定 / 3時間 / 日本語 / 対面

講師：高等司法研究科 FD・教育企画委員会が選定した数名

豊中 **10月～1月に予定**

〈キーワード〉説明、指示、パワーポイント、板書、配布資料、教室マネジメント

〈概要〉他大学法科大学院等の教員のモデル授業に参加し、授業の進め方、教授方法、配布資料等を実際に見学･見聞します。続く意見交換会では、当該教員のほか、複数の法科大学院の教員が出席して、意見交換会を行います。これにより法科大学院学生の知識習得と理解向上のため、必要なスキルの習得と教育能力の向上を目的とします。

《 問合先：高等司法研究科 教務係　houkou-kousikyoumu@office.osaka-u.ac.jp **》**
《 申込方法：９月以降、高等司法研究科授業担当教員、法学系新任教員に対するメール募集・申込 **》**

大阪大学ファカルティ・ディベロップメントフォーラム（FDフォーラム）

制限なし / 2.5時間 / 日本語 / オンデマンド

講師：学内教員

オンデマンド **10月頃-3月**

〈キーワード〉教育改革、ブレンデッド教育、メディア授業、アクティブ・ラーニング 等

〈概要〉本学教員に対し、ファカルティ・ディベロップメントの機会を提供し、教育指導・学習支援・学生支援能力の向上を図り、質の高い教育・学生支援活動の維持を目的とします。
今年９月開催した FD フォーラムをアーカイブ化し、オンデマンドで提供します。

《 問合先：教育・学生支援部教育企画課総務係　gakusei-gakumu-soumu@office.osaka-u.ac.jp **》**
《 申込方法：事前の受講申込は不要です **》**

ポスドク･博士課程学生のキャリア･就職支援【知識編】

制限なし / 1時間 / 日本語 / オンデマンド

講師：松尾誠二（株式会社イノベーターズ・キャリア・サポート 代表取締役社長 ）

オンデマンド **未定～2月末**

〈キーワード〉博士、企業、就職活動、研究、インターンシップ

〈概要〉博士後期課程への進学を修了後のキャリアパスが不透明という理由で躊躇する学生が少なくありません。しかし、実態は必ずしもそうではありません。正しい情報を学生に伝えて、キャリア選択の幅を広げるべく、博士の意識、企業の考え、各種統計データを共有し、就活の実務や研究インターンシップ等のキャリア教育まで含めて学びます。

〈目的〉ポスドク・博士課程学生の現在の就職状況を各種データに基づいて正しく理解する。そして、研究活動とキャリア教育を両立させるための研究インターンシップについて知り、学生に還元できるようになる。

《 問合先：キャリアセンター　fd@career.osaka-u.ac.jp **》**
《 申込方法：事前の受講申込は不要です。CLE（キャリアセンター FD）に掲載します **》**

ポスドク・博士課程学生のキャリア・就職支援【指導編】

制限なし / 1時間 / 日本語 / オンデマンド

講師：松尾誠二（株式会社イノベーターズ・キャリア・サポート 代表取締役社長 ）

オンデマンド **未定～2月末**

〈キーワード〉博士、企業、就職活動、学生指導、コーチング・スキル

〈概要〉博士課程学生の就職活動に関しては情報が少なく、学生も苦労する傾向があります。企業の博士採用に関する情報を基に､民間企業就職を希望する博士課程学生に対してアドバイスをする方法（コーチング･スキルやコミュニケーション・スキルを含む）を学びます。

〈目的〉ポスドク・博士課程学生の就活の実情を知り的確なサポートができるようになる。さらには、博士進学か就職かを悩んでいる修士の学生に正しい情報を伝え、キャリア選択の幅を広げるべく支援できるようになる。

《 問合先：キャリアセンター　fd@career.osaka-u.ac.jp **》**
《 申込方法：事前の受講申込は不要です。CLE（キャリアセンター FD）に掲載します **》**

障がい学生のキャリア支援【修学支援編】～社会移行を見据えた修学支援とキャリア支援～

500名 / 1時間 / 日本語 / オンデマンド

講師：村田淳（京都大学 学生総合支援機構 准教授）

オンデマンド **未定～2月末**

〈キーワード〉就職支援、障がい学生支援、合理的配慮

〈概要〉障害者差別解消法（2016 年 4 月施行）により、国公立大学では障がいのある学生に対する合理的配慮の提供が義務化され、修学上の障がい学生支援体制は整備されつつあります。しかし、このような障がいのある学生に対するキャリア・就職支援は、多くの大学において十分なノウハウがありません。就職活動そのものに対する支援のあり方だけでなく、障がいのある学生の社会進出のプロセスとして、総合的なキャリア支援の必要性について理解を深めます。

〈目的〉障がいのある学生（障がい特性のある学生を含む）の就職活動の支援について基本的な知識を身につけるとともに、修学支援のプロセスも含めた総合的なキャリア支援の必要性について考える機会とする。

《 問合先：キャリアセンター　fd@career.osaka-u.ac.jp **》**
《 申込方法：事前の受講申込は不要です。CLE（キャリアセンター FD）に掲載します **》**

障がい学生のキャリア支援【就労支援編】～職場への定着を見据えた精神・発達障がい者のキャリア支援～

500名 / 1時間 / 日本語 / オンデマンド

講師：池田浩之（兵庫教育大学 助教）

オンデマンド **未定～2月末**

〈キーワード〉就労支援、障がい学生支援、合理的配慮、精神障害、発達障害

〈概要〉精神障害・発達障害のある方の卒後の就職・就労支援に関する現状をお伝えしていきます。教育・医療・福祉・産業領域をまたぐ「働く」ための支援はどのようなものであるのか、対個人の支援から、対環境（企業）への支援まで、社会制度と合わせてご紹介いたします。講師は臨床心理学（認知行動療法）の専門であるため、心理的支援を中心にお伝えします。

〈目的〉障がいのある学生等、一般の就職活動とは違う形での就職活動が必要な学生の支援を行う上で必要な基本的な知識を身につけることを目的とする。

《 問合先：キャリアセンター　fd@career.osaka-u.ac.jp **》**
《 申込方法：事前の受講申込は不要です。CLE（キャリアセンター FD）に掲載します **》**

定員
受講時間
使用言語
研修形式

※掲載内容は8月末時点の情報です。
最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」（FD 関係）にてご確認ください。

教育能力
開発プログラム

限定 蛋白質研究所

FD研修会

60名程度 / 各回1時間程度 / 日本語 / 対面又はオンライン

講師：各回により異なる

吹田 又は オンライン **隔月1回程度(日程未定)**

〈キーワード〉 教育、研究、蛋白質

〈概要〉 従来の教育・研究活動を超えて、所内教員の教育・研究遂行能力を高めることを目的とし、学内外から様々な分野の研究者やＦＤ担当専門員を招聘し、研修会を開催します。年数回、場所は蛋白質研究所本館１階講堂で行います。若手研究者として大学院生も対象となる場合があります。

《 問合先： 蛋白質研究所 庶務係 tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp **》**
《 申込方法： 開催の約１ヶ月前に本部局構成員宛てメールにて通知予定 **》**

授業支援システム（CLE）入門講座

制限なし / 1.5時間 / 日本語 / オンデマンド

講師：外部講師
白井詩沙香（サイバーメディアセンター 講師）
浦西友樹（サイバーメディアセンター 准教授）

オンデマンド **～3月31日**

〈キーワード〉 授業支援システム、LMS、教育DX

〈概要〉 本研修では、授業支援システムCLEでのコース作成方法の修得を目的に、CLEの基本操作について学びます。本研修は講義動画による非同期型の研修です。

《 問合先： サイバーメディアセンター 情報メディア教育研究部門 ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp **》**
《 申込方法： 事前の受講申込は不要です。CLE にログイン後、
CLE の「CMC 情報教育システムオンラインセミナー」コミュニティへ参加ください **》**

授業支援システム（CLE）応用講座

制限なし / 2.5時間 / 日本語 / オンデマンド

講師：外部講師
白井詩沙香（サイバーメディアセンター 講師）
浦西友樹（サイバーメディアセンター 准教授）

オンデマンド **～3月31日**

〈キーワード〉 授業支援システム、LMS、教育DX

〈概要〉 本研修では、授業支援システムCLEでのコース作成方法の修得を目的に、CLEの応用機能について学びます。本研修は講義動画による非同期型の研修です。

《 問合先： サイバーメディアセンター 情報メディア教育研究部門 ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp **》**
《 申込方法： 事前の受講申込は不要です。CLE にログイン後、
CLE の「CMC 情報教育システムオンラインセミナー」コミュニティへ参加ください **》**

シラバスの書き方

制限なし / 3時間 / 日本語 English Sub / オンデマンド

講師：佐藤浩章（国際共創大学院学位プログラム推進機構 教授）

オンデマンド **～3月31日**

〈キーワード〉 シラバス、授業設計、目的、目標、スケジュール、評価

〈概要〉 シラバスは授業の設計図であり、授業の出発点です。教員の採用や昇進時に、シラバスが評価されることも多くなっています。本セミナーでは、学生の学習を最大限に促すために、シラバスの書き方を身につけます。本学で推奨しているブレンデッド授業を取り入れた授業設計についても扱います。セミナーはオンデマンド形式で実施されます。参加者はご自身の担当している授業のシラバス（どれか１つ）をお手元にご用意いただき、受講ください。セミナーを受講後、必要に応じて修正いただいたシラバスを提出ください。授業を担当されていない場合は、今後担当する予定のある授業のシラバスを送付ください。詳細な情報はオンデマンド教材においてお伝えいたします。

《 問合先： 全学教育推進機構 教育学習支援部 tlsc@office.osaka-u.ac.jp **》**
《 申込方法： 事前の受講申込は不要です **》**

定員
受講時間
使用言語
研修形式

学習評価

制限なし / 3時間 / 日本語 English Sub / オンデマンド

講師：佐藤浩章（国際共創大学院学位プログラム推進機構 教授）

オンデマンド **～3月31日**

〈キーワード〉 授業・学習、評価、成績評価

〈概要〉 学習評価とは、授業の到達目標の達成度合いを測定することです。本セミナーでは、学生の学習を適切に評価し、さらなる学習を促すために、学習評価方法を身につけます。本学で推奨しているブレンデッド授業を取り入れた授業における学習評価についても扱います。セミナーはオンデマンド形式で実施されます。参加者はご自身の担当している授業のシラバス（どれか１つ）をお手元にご用意いただき、受講ください。セミナーを受講後、必要に応じて修正いただいたシラバスの成績評価欄を提出ください。授業を担当されていない場合は、今後担当する予定のある授業を想定して送付ください。詳細な情報はオンデマンド教材においてお伝えいたします。

《 問合先： 全学教育推進機構 教育学習支援部 tlsc@office.osaka-u.ac.jp **》**
《 申込方法： 事前の受講申込は不要です **》**

オンラインビデオ教材作成法（Echo編）

制限なし / 1.5時間 / 日本語 / オンデマンド

講師：浦西友樹（サイバーメディアセンター 准教授）
浦田悠（全学教育推進機構 准教授）

オンデマンド **～3月31日**

〈キーワード〉 オンライン授業、ICT活用、アクティブ・ラーニング

〈概要〉 大阪大学の教職員であれば無料で使用できるecho360社の講義収録配信システムを用いれば、機材を設置している教室もしくはお手持ちのパソコンで、手軽にオンラインビデオ教材を作成・配信することができます。専用のアプリケーションとウェブカメラ（内蔵 or 外付け）を使えば、パソコン画面とカメラ映像の2画面を同時に収録・配信することも可能です。現在、このシステムは、オンライン授業はもちろん、予習や復習、出張時等の授業のオンライン化、補講での活用の他、部局や研究室でのオンライン講習や特別な配慮が必要な学生のための配信等、学内で様々な形で利活用されています。本セミナーでは、ご自身のパソコンで実際に映像教材を作成する方法を学び、授業等での活用方法をご検討いただきます。
＊受講の際は（可能であればウェブカメラ付の）パソコン（WindowsもしくはMac）および大阪大学個人ID・パスワードをご準備ください。
＊ご自身のCLEのコースをお持ちでない教職員の方は、別途Echo窓口（echo360@ml.office.osaka-u.ac.jp）までご連絡ください。

《 問合先： 全学教育推進機構 教育学習支援部 tlsc@office.osaka-u.ac.jp **》**
《 申込方法： 事前の受講申込は不要です **》**

教育のための動画・メディア制作入門

制限なし / 1.5時間 / 日本語 / オンデマンド

講師：権藤千恵（スチューデント・ライフサイクルサポートセンター 特任助教）

オンデマンド **～3月31日**

〈キーワード〉 動画制作、教材制作、オンライン授業, ブレンド型授業

〈概要〉 現在、授業をはじめとする教育の現場で教員自らが動画を制作する機会が増えています。本プログラムでは、プレゼンテーション動画・インタビュー動画、記録動画など教育現場における動画制作手法の基本を理解し、簡単な動画教材が作成できるようになることを目指します。
なお本プログラムは、オンライン（オンデマンド型）で実施します。

《 問合先： 全学教育推進機構 教育学習支援部 tlsc@office.osaka-u.ac.jp **》**
《 申込方法： 事前の受講申込は不要です **》**

※掲載内容は8月末時点の情報です。
最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」（FD 関係）にてご確認ください。

教育能力
開発プログラム

教育のための実践型動画制作

制限なし　1.5時間　日本語　オンデマンド

講師：権藤千恵（スチューデント・ライフサイクルサポートセンター 特任助教）

オンデマンド　**11月1日～3月31日**

〈キーワード〉動画制作、教材制作、オンライン授業、ブレンド型授業

〈概要〉本プログラムでは、大学教職員自らがワンストップ（動画撮影・編集から公開まで）による動画制作スキルを実践的に身につけることを目指します。なお本プログラムは、オンライン（オンデマンド型）で実施します。
＊本プログラムの受講の前にご自身のスマートフォンや動画が撮影できるカメラ、編集用のパソコンをご準備ください。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部　tlsc@office.osaka-u.ac.jp**》**
《申込方法：事前の受講申込は不要です**》**

著作権入門セミナー
～他人事では済まされない著作権の話～

20名　3時間　日本語　オンライン

講師：桝田剛（弁理士）
向井秀一（弁理士）

オンライン　**10月28日 13:00-16:15**

〈キーワード〉知的財産、著作権、私的使用のための複製、引用

〈概要〉著作権に関する基本的内容を学びます。著作権に関する知識を有していない人でも、著作権とは何か、私的複製、引用はどの範疇まで認められるか等の基本的事項に関して理解することを目的としています。

《問合先：知的基盤総合センター　mukashu@iprism.osaka-u.ac.jp**》**
《申込方法：電子メールで、連絡先メールアドレス（mukashu@iprism.osaka-u.ac.jp）まで、①氏名、②所属（学生の場合は学部・学科、学年等）を明記の上で参加希望の旨をご連絡ください**》**

研究室の教育指導

制限なし　2時間　日本語　オンライン

講師：佐藤浩章（国際共創大学院学位プログラム推進機構 教授）
橋爪章仁（理学研究科 教授）

オンライン　**10月31日 13:00-15:00、11月8日 15:00-17:00**

〈キーワード〉研究室教育、研究室マネジメント、研究室理念（ラボ・ポリシー）

〈概要〉ゼミや研究室での研究指導はうまくいっているでしょうか。研究室教育は日本が誇る大学教育の方法です。徒弟制を基盤としたこの教育方法をうまく実施するためには、徒弟制教育の特徴を理解し、研究室の理念（ラボ・ポリシー）の共有、年間に渡る教育イベントの設計など、いくつかの押さえるべきポイントがあります。阪大での優れた研究室教育の事例を通して、自身の所属する研究室へどう実装するかを考える機会とします。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部　tlsc@office.osaka-u.ac.jp**》**
《申込方法：全学教育推進機構教育学習支援部のウェブサイト（http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/）にて、開催前日の15時までに申し込みください**》**

限定 文学部

令和５年度 研究教育フォーラム

70名　2時間　日本語　対面

講師：未定（本研究科の名誉教授及び現員教員）

豊中　**11月9日 15:30-17:30**

〈キーワード〉研究、教育

〈概要〉本研究科の名誉教授および本研究科等の教員によるそれぞれの専門分野に関する研究発表や社学連携活動の講演と座談会を行い、それについて質疑応答を通じて、人文学研究の理解を深める。
本研究科教員の研究遂行能力を開発するとともに、研究成果を教育の場や社学連携の場に効果的に活かすための方法を開発する。

《問合先：人文学研究科 豊中事務部 庶務係　jinbun-syomu@office.osaka-u.ac.jp**》**
《申込方法：研究科教員等宛に通知する開催案内に沿って申込を行う**》**

STEM コンピューティング・プラットフォーム
Mathematica 講習会

100名程度　2時間　日本語　対面 オンライン

講師：外部講師
小林聖人（サイバーメディアセンター 助教）

豊中 オンライン　**未定**

〈キーワード〉数式処理、数値解析、Mathematica、ハンズオンセミナー

〈概要〉本研修では、サイバーメディアセンターが全学ライセンスを購入している Mathematica の基本操作の修得を目的に、Mathematica の基本構成と原理、Mathematica の基本操作方法、グラフの描画、微積分計算と積分変換、その他の機能について学びます。

《問合先：サイバーメディアセンター 情報メディア教育研究部　ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp**》**
《申込方法：詳細は情報教育システム利用教員メーリングリスト、サイバーメディアセンターホームページ等で開催を告知する**》**

研究能力
開発プログラム

学術情報の迅速かつ効率的な収集方法や発信方法、厳守すべき研究倫理など、研究を行う上で必要な能力開発を目指すプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催２週間前までにご連絡ください。
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。

※掲載内容は8月末時点の情報です。
最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」（FD 関係）にてご確認ください。

定員
受講時間
使用言語
研修形式

研究能力
開発プログラム

限定 微生物病研究所

RIMD FD seminar series : Academic English for RIMD Researchers

制限なし / 各回1時間 / English / 対面

講師：Rozita Farzam

吹田 **随時**

〈キーワード〉Academic English, Scientific writing skills, English presentation skills

〈概要〉受講者が持参した英語プレゼンテーションスライドやポスターをもとに、講師がプレゼンテーション資料作成のノウハウを伝授します。またプレゼンテーションの基礎についても学ぶことができます。学会、シンポジウム発表に向けて、英語プレゼンテーションスキルの向上にご活用ください。

《問合先：微生物病研究所 企画広報推進室 kikaku@biken.osaka-u.ac.jp》
《申込方法：メールによる参加受付後、担当者より日程調整を行います》

限定 微生物病研究所／免疫学フロンティア研究センター

不正防止について

制限なし / 0.33時間 / 日本語 English / オンデマンド

講師：微生物病研究所長

オンデマンド **適宜**

〈キーワード〉研究不正、研究倫理、捏造、改ざん、剽窃、不正使用

〈概要〉本研修は「微生物病研究所・IFReC諸施設の利用に関する合同オリエンテーション」における１メニューであり、微生物病研究所、IFReCに所属する全教職員・学生に対し、微生物病研究所所長によるオンラインレクチャー（オンデマンド）が行われる。また、５月以降の新任者にも、オンライン視聴を義務付ける。研究不正について、特に研究倫理不正と研究費不正にわけて解説をし、研究者のみならず、研究に関わる全ての学生・職員に対し、研究不正に手を染めないよう改めて注意を喚起することで、研究不正を未然に防止することを目的とする。

《問合先：微生物病研究所 企画広報推進室 suishin@biken.osaka-u.ac.jp》
《申込方法：４月はじめに各分野宛に受講者募集に係る通知。
受講希望者は、申込フォームを記入しメールにて上記担当部署まで申し込む》

限定 情報科学研究科

IST ランチセミナー

各回20名 / 各回1時間 / 日本語 English / 対面

講師：情報科学研究科 教員

吹田 **毎週1回程度 12:00-13:00**

〈キーワード〉研究力向上、融合研究

〈概要〉大阪大学大学院情報科学研究科内の融合研究の促進を目的とし、各研究者の研究内容や課題を共有し、ディスカッションします。

《問合先：情報科学研究科 研究戦略企画室 ura@ist.osaka-u.ac.jp》
《申込方法：毎週、研究科内の教職員宛てに受講に係る通知を予定》

限定 生命機能研究科（兼任教員在籍の他理系部局も含む）

生命機能研究科コロキウム（FBS コロキウム）

300名 / 0.75時間 / 日本語 English / 対面 オンライン

講師：マイハンダイ掲載の年間予定表に準ずる

吹田 オンライン **毎週火曜日 12:15-13:00**

〈キーワード〉生命科学、生命のしくみ、融合研究

〈概要〉このセミナーシリーズは、週一回のランチタイムに生命機能研究科関係者、研究室ごと（入れ替わり）で、最新の研究紹介し、研究内容や課題を共有し研究交流促進が図られています。お互いに議論することで研究科が目指す分野を超えた「融合」研究の熟成の場となっています。

《問合先：生命機能研究科 企画広報室 fbs-kikaku@fbs.osaka-u.ac.jp》
《申込方法：上記問い合わせ先へ申し込み、視聴すること》

定員
受講時間
使用言語
研修形式

限定 蛋白質研究所

蛋白研コロキウム

60名程度 / 各回1時間程度 / 日本語 / 対面又はオンライン

講師：各回により異なる

吹田 又は オンライン **隔月1回程度（日程未定）**

〈キーワード〉蛋白質、構造生物学、異分野融合研究

〈概要〉蛋白質および蛋白質に関連した異分野融合研究の最新動向を知ることにより、所内研究者の研究に活かすことを目的として、主に所内教員の最新研究に関する講演を開催します。年数回、場所は蛋白質研究所本館１階講堂で行います。若手研究者として大学院生も対象となる場合があります。

《問合先：蛋白質研究所 庶務係 tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp》
《申込方法：開催の約１ヶ月前に本部局構成員宛てメールにて通知予定》

限定 情報科学研究科

IST イブニングセミナー

各回20名 / 各回1時間 / 日本語 English / 対面

講師：情報科学研究科 教員

吹田 **隔月1回程度 17:00-18:00**

〈キーワード〉研究力向上、融合研究

〈概要〉大阪大学大学院情報科学研究科内の融合研究の促進を目的とし、各研究者の研究内容や課題を共有し、ディスカッションします。

《問合先：情報科学研究科 研究戦略企画室 ura@ist.osaka-u.ac.jp》
《申込方法：開催時に、研究科内の教職員宛てに受講に係る通知を予定》

STEM コンピューティング・プラットフォーム Maple 講習会

300名程度 / 3時間 / 日本語 / オンデマンド

講師：外部講師
小林聖人（サイバーメディアセンター 助教）

オンデマンド **～2月29日**

〈キーワード〉数式処理、数値解析、Maple、ハンズオンセミナー

〈概要〉本研修では、サイバーメディアセンターが全学ライセンスを購入しているMapleの基本操作の修得を目的に、Mapleの基本構成と原理、Maple の基本操作方法、グラフの描画、微積分計算と積分変換、その他の機能について学びます。

《問合先：サイバーメディアセンター 情報メディア教育研究部 ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp》
《申込方法：詳細は情報教育システム利用教員メーリングリスト、
サイバーメディアセンターホームページ等で開催を告知する》

オープンアクセスを巡る状況と大阪大学におけるオープンアクセス支援

制限なし / 1時間 / 日本語 / オンデマンド

講師：図書館職員

オンデマンド **～3月31日**

〈キーワード〉オープンアクセス、電子ジャーナル、論文掲載料、転換契約、粗悪学術誌・ハゲタカジャーナル、機関リポジトリ、大阪大学オープンアクセス方針

〈概要〉電子ジャーナルの価格高騰、論文掲載料（APC）を必要とするオープンアクセス誌やハイブリッド誌の広がり、粗悪学術誌（いわゆるハゲタカジャーナル）の出現など、大きく変わりつつある学術情報流通、とりわけオープンアクセスを巡る動向を学ぶ。加えて、大阪大学におけるオープンアクセスへの支援内容を理解する。

《問合先：附属図書館 図書館企画課 企画係 tosyo-kikaku-kikaku@office.osaka-u.ac.jp》
《申込方法：事前の受講申込は不要です。
大阪大学 CLE にて動画を配信します。受講後には所定のフォームから受講報告をしていただきます》

※掲載内容は8月末時点の情報です。
最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」（FD 関係）にてご確認ください。

研究能力
開発プログラム

オープンサイエンス時代における研究データマネジメントの基礎について学ぶ

制限なし　1時間　日本語　オンデマンド

講師：甲斐尚人（附属図書館 准教授）

オンデマンド　**～3月31日**

〈キーワード〉研究データマネジメント、オープンサイエンス、オープンアクセス、オープンデータ、研究データ基盤、研究公正、研究データ管理計画、大阪大学研究データポリシー

〈概要〉世界的なオープンサイエンスの潮流によって、研究データマネジメントの重要性やそのあり方が近年注目されており、競争的資金においても、研究データ管理計画の策定や論文の即時オープンアクセスの義務化が進みつつある。研究データマネジメントは研究者がこれまで研究活動の一環として行ってきたが、研究促進や研究効率化、研究公正などの観点から体系的かつ組織的な研究データマネジメントが求められている。本研修では、国内外のオープンサイエンスの動向や本学の研究データポリシーの解説を行うとともに、研究データのエコシステムを構築する代表的な研究データ基盤やそれらを活用した本学の研究データマネジメントの取組みについて紹介する。

《問合先：研究推進部 研究企画課 研究企画係　research-plan@office.osaka-u.ac.jp》
《申込方法：マイハンダイに掲載の研修プログラム計画書でご確認下さい》

アドバンストセミナー

対面：未定
オンライン：制限なし　各回1時間　日本語 English　対面 オンライン

講師：各回により異なる

吹田 オンライン　**毎月１回（3月を除く） 16:00-17:00**

〈キーワード〉感染症、免疫学

〈概要〉学外から招聘した感染症学・免疫学分野の第一線の研究者によるレクチャーを開催する。基本的に月１回。本セミナーは大学院高度副プログラム及び医学系研究科単位認定セミナーであり、若手研究者としての大学院生も対象。各分野エキスパートの研究者による専門的なレクチャーにより、大学院生や若手研究者に感染症学・免疫学に関する最新の知識を得ることを目的とする。

《問合先：微生物病研究所 企画広報推進室　suishin@biken.osaka-u.ac.jp》
《申込方法：各回の前月に微生物病研究所と免疫学フロンティア研究センターの各分野、医学系研究科、その他理系生命系部局に開催案内を通知。オンサイトの場合は受講希望者は事前申込なしに当日直接受講できる。オンラインの場合は事前申込制（メールで申込）。FD新任研修としての受講希望者は、別途メールにて上記担当部署まで申し込む》

限定 微生物病研究所／免疫学フロンティア研究センター／医学系研究科

微研集談会

制限なし　各回1時間　日本語 English　オンライン

講師：各回により異なる

オンライン　**毎月第4火曜日（12月、1月を除く） 16:00-17:00**

〈キーワード〉感染症、免疫学、がん、ゲノム解析学

〈概要〉微生物病研究所、IFReCに所属する若手教職員を中心に、最新の研究成果について発表と、質疑応答を行う。本研究セミナーは医学系研究科単位認定セミナーでもあり、若手研究員としての大学院生教育目的も併せ持つ。分野を超えた研究者の交流により、研究に対する視野を広げるとともに、活発な意見交換による研究者同士の切磋琢磨促進を目的とする研究セミナーである。

《問合先：微生物病研究所 企画広報推進室　suishin@biken.osaka-u.ac.jp》
《申込方法：各回の前月に微生物病研究所と免疫学フロンティア研究センターの各分野及び医学系研究科に開催案内を通知。受講希望者は事前申込なしに当日直接受講できる。FD新任研修としての受講希望者は、別途メールにて担当部署まで申し込む》

定員
受講時間
使用言語
研修形式

新任教員向け講義＋適塾見学会～阪大の歴史を辿る～

各回20名　1時間　日本語　対面

講師：島田昌一（医学系研究科 教授）
野村玄（人文学研究科 准教授）
松永和浩（ミュージアム・リンクス 准教授）

適塾　**10月27日 10:30-11:30（①）、11月8日 10:00-11:00（②）**

〈キーワード〉適塾、適塾記念センター、適塾記念会、阪大の歴史、適塾顕彰活動、精神的源流、文化財

〈概要〉本学の教職員を対象として、『適塾と大阪大学の繋がり』に関する歴史的・精神認識や、適塾記念センター及び適塾記念会の顕彰事業の内容を啓発するために実施するものです。
・講義（①野村玄／②島田昌一） 30 分
・適塾見学（①②松永和浩） 30 分

〈目的〉・適塾が阪大の精神的源流とされる歴史認識や精神的意義を阪大構成員に伝え、理解いただくこと。
・適塾記念センター・適塾記念会が適塾顕彰活動を広く学内に啓発し、理解いただくこと。
・適塾と実際に触れていただき、身近に感じていただくこと。

《問合先：共創推進部 博物館 適塾記念センター等事務室 総務係　kyousou-museum-tekijuku@office.osaka-u.ac.jp》
《申込方法：博物館・適塾記念センター等事務室より各部局にメールにて募集要項・チラシなどを配付し、マイハンダイ申込フォームにて参加を募る》

大阪大学の歴史

50名　1.5時間　日本語　オンライン

講師：菅真城（ミュージアム・リンクス 教授）

オンライン　**11月22日 15:10-16:40**

〈キーワード〉大阪大学、大阪帝国大学、大阪外国語大学

〈概要〉本研修は、自己が所属する大阪大学の歴史について基本的知識を身につけることを目的とします。
前身諸学校を含む大阪大学の歴史について、重要トピックを取り上げ、時系列に学びます。また、歴史を明らかにするうえでの資料の重要性について学びます。

《問合先：総務部 総務課 文書管理係　souki-soumu-bunsyo@office.osaka-u.ac.jp》
《申込方法：ICHO 掲示板でお知らせしますので、①所属、②職名、③氏名（フリガナ）、④個人 ID を上記アドレスあてにお知らせください》

大阪大学総合学術博物館の役割とその活用方法

20名　1.5時間　日本語　対面

講師：横田洋（ミュージアム・リンクス 准教授）

豊中　**12月4日 13:30-15:00**

〈キーワード〉大学博物館

〈概要〉大阪大学総合学術博物館では大学の教育・研究の成果とその歴史を主に展示という手法を用いて、広く社会に発信する役割を担っています。また大学構成員と市民、地元自治体との交流の場としても機能し、社学連携的な視座を基にした新たな研究を推進する拠点としての役割も求められています。博物館での様々な実践例を参考に、大学博物館の活用の方法を紹介します。

《問合先：共創推進部 博物館 適塾記念センター等事務室 総務係　kyousou-museum-tekijuku@office.osaka-u.ac.jp》
《申込方法：10 月頃に ICHO 掲示板にて受講者募集予定》

社学連携能力
開発プログラム

緒方洪庵が開いた適塾や大阪大学の歴史など本学への理解を深めるプログラムや、実社会と連携した教育や研究の進め方についてのプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催２週間前までにご連絡ください。
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。

※掲載内容は8月末時点の情報です。
最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」（FD 関係）にてご確認ください。

定員
受講時間
使用言語
研修形式

社学連携能力
開発プログラム

アートを通した社会との共創－中之島芸術センターの活用

15名 1.5時間 日本語 対面

講師：永田靖（中之島芸術センター 特任教授）
伊東信宏（中之島芸術センター長 教授）
薗田郁（中之島芸術センター 特任研究員）

中之島センター **10月～12月頃（日程未定）**

〈キーワード〉芸術、社学共創、中之島芸術センター

〈概要〉2023年4月に改修が完成した中之島センターに拠点を置く中之島芸術センターは、アートを通した教育研究と社学共創の理念や手法を探求し、また実践しています。中之島芸術センターがどのようなアートを通した社会との共創を推進しようとしているのか、今までの実例やこれからの展望を紹介しつつ、本年度より本格的にスタートした中之島芸術センターの紹介を行います。

《問合先：中之島芸術センター 事務室 secretary.art@ml.office.osaka-u.ac.jp》
《申込方法：開催の約１ヵ月前に各部局宛に受講者募集の案内に係る案内を発出予定（ICHO 掲示板に掲載）
希望者は、上記問合せ先にメールにて申し込む形とする予定》

限定 情報科学研究科

IST ネットワーキングイベント

各回30名 各回1.5時間 日本語 対面 オンライン

講師：第一線で活躍する研究者

吹田 オンライン **隔月(年間5回)**

〈キーワード〉研究力向上、融合研究

〈概要〉情報科学研究科の教職員及び学生を対象とした、研究科外の関連研究者との交流イベントになります。関連のトピックの概観、共同研究のシーズ探し、研究の深め方、視野の広げ方を学ぶことを目的としています。

《問合先：情報科学研究科 研究戦略企画室 ura@ist.osaka-u.ac.jp》
《申込方法：毎回、研究科の教職員及び学生宛てに受講に係る通知を予定》

映画『洪庵と 1,000 人の若ものたち』鑑賞と解説

制限なし 1.5時間 日本語 オンデマンド

講師：松永和浩（ミュージアム・リンクス 准教授）

オンデマンド **～3月31日**

〈キーワード〉適塾、適塾記念センター、適塾記念会、阪大の歴史、適塾顕彰活動、精神的源流、文化財

〈概要〉映画『洪庵と1,000人の若ものたち』に収録された、適塾の様子を再現したドラマや適塾の解体修復工事の記録を通じ、大阪大学の精神的源流を見出し、阪大・適塾記念会が文化財として適塾の遺産をどう守り伝えて来たかを学び、大阪大学の歴史を社会に発信できる人材を育成する。
・映画『洪庵と1,000人の若ものたち』の鑑賞　50分
・映画の解説（松永 和浩）　40分

〈目的〉・適塾が阪大の精神的源流とされる歴史的背景や意義を阪大構成員に伝え、認識を深めること。
・適塾記念センター・適塾記念会が適塾顕彰活動を広く学内に発信し、認識を深めること。

《問合先：共創推進部 博物館 適塾記念センター等事務室 総務係 kyousou-museum-tekijuku@office.osaka-u.ac.jp》
《申込方法：博物館・適塾記念センター等事務室より各部局にメールにて募集要項・チラシなどを配付し、
マイハンダイ申 込フォームにて参加を募る》

定員
受講時間
使用言語
研修形式

限定 情報科学研究科

情報科学研究科 FD・SD 研修

100名 1.67時間 日本語 対面

講師：永合由美子（NPO法人女子中高生理工系キャリアパスプロジェクト 代表理事）
原隆浩（情報科学研究科長 教授）

吹田 **11月2日 14:50-16:30**

〈キーワード〉アンコンシャス・バイアス、ダイバーシティ＆インクルージョン、研究科の現況

〈概要〉アンコンシャス・バイアスとの向き合い方や理工系女子学生を増やすための方策（１時間程度）、研究科の現況（４０分程度）を含み、全体で１時間４０分程度の研修とし、研究科の全教職員を対象とします。
自身のアンコンシャス・バイアスに気づき、多様な背景を持つ学生への接し方を理解すること、また、研究科の現状を知ることで、教職員が今後の部局運営や教育・研究活動をよりよいものにすることを目的とします。

《問合先：情報科学研究科 庶務係 jyouhou-syomu@office.osaka-u.ac.jp》
《申込方法：情報科学研究科 庶務係宛に参加者の所属及び氏名をお知らせください。
連絡先は上記問合せ先と同じです》

限定 接合科学研究所

安全保障輸出管理に関する説明会

100名 0.5時間 日本語 対面

講師：金美善（研究オフィス 教授）

吹田 **11月16日 9:30-10:00**

〈キーワード〉安全保障輸出管理、研究インテグリティ、研究リスク

〈概要〉安全保障輸出管理の目的を理解し、本学の安全保障輸出管理手続きを適正に行うことで、研究データの不用意な流出を防止する。また、国際的に信頼性のある研究環境を構築するための、研究の健全性・公正性の確保に向けた本学の取り組みについて理解する。

《問合先：接合科学研究所 setugouken-syomu@office.osaka-u.ac.jp》
《申込方法：当日参加》

限定 人文学研究科及びマルチリンガル教育センター構成員

人文学研究科ハラスメント防止研修会

制限なし 1時間 日本語 対面

講師：未定

豊中 **11月16日 15:10-16:10**

〈キーワード〉ハラスメント防止

〈概要〉構成員へのハラスメント防止に係る意識啓発のため、ハラスメント防止に係る講演を行います。

《問合先：人文学研究科 豊中事務部 総務係 jinbun-soumu@office.osaka-u.ac.jp》
《申込方法：事前の受講申込は不要です。詳細は対象者に別途通知》

限定 人文学研究科・文学部

文学部ハラスメント防止講習会

70名 1時間 日本語 対面

講師：未定

豊中 **3月7日 13:00-14:00**

〈キーワード〉ハラスメント

〈概要〉7月12日に総務部総務課法規係により開催された広島大学・北仲千里先生の講座「アカデミック・ハラスメント問題を掘り下げる －その防止と、相談ケース対応－」の録画データの一部を視聴し、コーディネーターの采配の元、参加者間で意見交換を行います。アカデミック・ハラスメントに関する文学部教職員の認識・理解を深化させ、ハラスメントの防止徹底を図ることを目的とします。

《問合先：人文学研究科 文学部ハラスメント問題委員会 委員長 門脇むつみ kadowaki.mutsumi.hmt@osaka-u.ac.jp》
《申込方法：原則として学部内限定で学部教員は全員出席。他部局所属の教職員の参加については応相談》

マネジメント能力
開発プログラム

薬品や廃液の取扱など安全衛生に関わる内容や、各種コンプライアンスに関わる内容など、組織の管理運営能力の開発を目指すプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催２週間前までにご連絡ください。
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。

※掲載内容は8月末時点の情報です。
最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」（FD 関係）にてご確認ください。

定員
受講時間
使用言語
研修形式

マネジメント能力
開発プログラム

URA（University Research Administrator）と研究者のキャリア形成の接点を考える

制限なし　1時間　日本語　オンデマンド

講師：経営企画オフィス URA

オンデマンド　**未定**

〈キーワード〉 URA、研究推進、外部資金、IR

〈概要〉 本研修は、研究者のキャリア形成をURAとの「2つの接点」から捉えることにより、今後の活動に関し新たなヒントを得ていただくことを目的とします。1つ目の接点「URAを活用する」では、URAが提供する研究活動発展のための学内プログラム等を説明します。2つ目の接点「URAになる」では、研究者としての日頃の活動に実は含まれているURA的な側面や、研究者のキャリアを活かして活躍しているURAの事例を紹介します。

《 問合先：経営企画オフィス URA 部門　takano.makoto.omp@osaka-u.ac.jp 》
《 申込方法：事前の受講申込は不要です。
大阪大学 CLE にて動画を配信します。受講後には所定のフォームから受講報告をしていただきます 》

メンタルヘルス講習会

未定　未定　日本語　未定

講師：未定

未定　**未定**

〈キーワード〉 メンタルヘルス

〈概要〉 メンタルヘルスに対する理解を深めることを目的とします。

《 問合先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係　anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp 》
《 申込方法：ICHO 掲示板、KOAN 及び各部局等事務部へのメール通知等で開催案内を送付します。
案内に書かれた方法により各自お申し込みください 》

大阪大学化学薬品管理支援システム（OCCSIV）の利用について

対面/オンライン：未定
オンデマンド：制限なし　1時間　日本語　対面 オンライン オンデマンド

講師：角井伸次（環境安全研究管理センター 准教授）

豊中 吹田 オンライン　**未定**　オンデマンド　**～3月31日**

〈キーワード〉 大阪大学化学薬品管理支援システム（OCCSIV）

〈概要〉 大阪大学化学薬品管理支援システム（OCCSIV）の使用方法（化学薬品の登録と集計）を習得することを目的としています。また、化学物質に関連する法令等による規制についても理解を深めます。

《 問合先：総務部 安全衛生管理室 推進第二係　anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp 》
《 申込方法：【対面・ライブ配信を実施する場合】ICHO 掲示板、KOAN 及び各部局等事務部へのメール通知等で開催案内を送付します。案内に書かれた方法により各自お申し込みください。
【オンデマンド受講を希望する場合】大阪大学 CLE から申込なしで受講いただけます。
受講方法については以下通知をご確認ください。
《ICHO 文書管理》安全衛生管理関係（全学教職員共有）〉推進第一係〉令和 5 年度通知〉20230616_ 春季安全衛生集中講習会のオンデマンド配信開始について 》

定員
受講時間
使用言語
研修形態

実験系廃液・排水の取扱い

対面/オンライン：未定
オンデマンド：制限なし　1時間　日本語　対面 オンライン オンデマンド

講師：角井伸次（環境安全研究管理センター 准教授）

豊中 吹田 オンライン　**未定**　オンデマンド　**～3月31日**

〈キーワード〉 実験系廃液・排水の取扱い

〈概要〉 実験系廃液の取扱いでは、実験室で生じる廃液の貯留区分や回収方法、注意点など危険な事例を含めて研修します。また実験系排水の取扱いでは、実験器具の洗浄方法・排水の規制項目や注意点、水質汚濁防止法の有害物質、管理要領・点検表、特定施設の届出などについて研修します。有機廃液管理責任者、無機廃液管理責任者、排水管理責任者が実験系廃液・排水についての取扱いについて習得することを目的とします。

《 問合先：総務部 安全衛生管理室 推進第二係　anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp 》
《 申込方法：【対面・ライブ配信を実施する場合】ICHO 掲示板、KOAN 及び各部局等事務部へのメール通知等で開催案内を送付します。案内に書かれた方法により各自お申し込みください。
【オンデマンド受講を希望する場合】大阪大学 CLE から申込なしで受講いただけます。
受講方法については以下通知をご確認ください。
《ICHO 文書管理》安全衛生管理関係（全学教職員共有）〉推進第一係〉令和 5 年度通知〉20230616_ 春季安全衛生集中講習会のオンデマンド配信開始について 》

非化学系のための化学薬品取扱講習

対面/オンライン：未定
オンデマンド：制限なし　1.5時間　日本語　対面 オンライン オンデマンド

講師：山本仁（安全衛生管理部 教授）

豊中 吹田 オンライン　**未定**　オンデマンド　**～3月31日**

〈キーワード〉 化学薬品

〈概要〉 非化学系（生物系・物理系）の研究分野で化学薬品を取り扱う教職員を対象に、化学物質が危険性・有害性を有していること、管理の必要性、法規制、管理方法、危険有害性情報、法令情報の取得方法について解説します。非化学系（生物系・物理系等）の研究分野で化学薬品を取り扱う教職員が安全な取扱いについて必要な知識を習得することを目的とします。

《 問合先：総務部 安全衛生管理室 推進第二係　anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp 》
《 申込方法：【対面・ライブ配信を実施する場合】ICHO 掲示板、KOAN 及び各部局等事務部へのメール通知等で開催案内を送付します。案内に書かれた方法により各自お申し込みください。
【オンデマンド受講を希望する場合】大阪大学 CLE から申込なしで受講いただけます。
受講方法については以下通知をご確認ください。
《ICHO 文書管理》安全衛生管理関係（全学教職員共有）〉推進第一係〉令和 5 年度通知〉20230616_ 春季安全衛生集中講習会のオンデマンド配信開始について 》

詳解：化学物質安全取扱講習

対面/オンライン：未定
オンデマンド：制限なし　1.5時間　日本語　対面 オンライン オンデマンド

講師：山本仁（安全衛生管理部 教授）

豊中 吹田 オンライン　**未定**　オンデマンド　**～3月31日**

〈キーワード〉 化学薬品

〈概要〉 化学薬品の安全な取扱いに関する知識と、関連する主な法令に基づく適切な薬品管理の方法について解説します。また、薬品等の廃棄に関連する方法、概念についても説明します。化学薬品の安全な取扱いに関する知識と法令に基づく適切な薬品管理の方法を取得することを目的とします。

《 問合先：総務部 安全衛生管理室 推進第二係　anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp 》
《 申込方法：【対面・ライブ配信を実施する場合】ICHO 掲示板、KOAN 及び各部局等事務部へのメール通知等で開催案内を送付します。案内に書かれた方法により各自お申し込みください。
【オンデマンド受講を希望する場合】大阪大学 CLE から申込なしで受講いただけます。
受講方法については以下通知をご確認ください。
《ICHO 文書管理》安全衛生管理関係（全学教職員共有）〉推進第一係〉令和 5 年度通知〉20230616_ 春季安全衛生集中講習会のオンデマンド配信開始について 》

※掲載内容は8月末時点の情報です。
最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」（FD 関係）にてご確認ください。

マネジメント能力
開発プログラム

高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習（コアファシリティ機構低温科学支援部門豊中分室編）

対面/オンライン：未定
オンデマンド：制限なし
1.5時間
日本語
対面 オンライン オンデマンド

講師：竹内徹也（コアファシリティ機構 低温科学支援部門 教授）

豊中 オンライン **未定** オンデマンド **～3月31日**

〈キーワード〉高圧ガス・液体寒剤

〈概要〉低温寒剤の安全な取扱い方と注意点及びコアファシリティ機構低温科学支援部門の利用法について講習します。また高圧ガスや高圧ガスボンベの取扱いについて初歩的な講習を行います。

《問合先：総務部 安全衛生管理室 推進第二係 anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp》
《申込方法：【対面・ライブ配信を実施する場合】ICHO 掲示板、KOAN 及び各部局等事務部へのメール通知等で開催案内を送付します。案内に書かれた方法により各自お申し込みください。
【オンデマンド受講を希望する場合】大阪大学 CLE から申込なしで受講いただけます。
受講方法については以下通知をご確認ください。
《ICHO 文書管理》安全衛生管理関係（全学教職員共有）〉推進第一係〉令和 5 年度通知〉20230616_ 春季安全衛生集中講習会のオンデマンド配信開始について》

高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習（コアファシリティ機構低温科学支援部門吹田分室編）

対面/オンライン：未定
オンデマンド：制限なし
1.5時間
日本語
対面 オンライン オンデマンド

講師：中本将嗣（コアファシリティ機構 低温科学支援部門 助教）

吹田 オンライン **未定** オンデマンド **～3月31日**

〈キーワード〉高圧ガス・液体寒剤

〈概要〉低温寒剤の安全な取扱い方と注意点及びコアファシリティ機構低温科学支援部門の利用法について講習します。また高圧ガスや高圧ガスボンベの取扱いについて初歩的な講習を行います。

《問合先：総務部 安全衛生管理室 推進第二係 anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp》
《申込方法：【対面・ライブ配信を実施する場合】ICHO 掲示板、KOAN 及び各部局等事務部へのメール通知等で開催案内を送付します。案内に書かれた方法により各自お申し込みください。
【オンデマンド受講を希望する場合】大阪大学 CLE から申込なしで受講いただけます。
受講方法については以下通知をご確認ください。
《ICHO 文書管理》安全衛生管理関係（全学教職員共有）〉推進第一係〉令和 5 年度通知〉20230616_ 春季安全衛生集中講習会のオンデマンド配信開始について》

大阪大学高圧ガス管理支援システム（OGCS）利用講習

対面/オンライン：未定
オンデマンド：制限なし
1時間
日本語
対面 オンライン オンデマンド

講師：中本将嗣（コアファシリティ機構 低温科学支援部門 助教）

豊中 吹田 オンライン **未定** オンデマンド **～3月31日**

〈キーワード〉高圧ガス管理支援システム（OGCS）

〈概要〉高圧ガスを取り扱う教職員で、大阪大学高圧ガス管理支援システム（OGCS）を使用する教職員が使用方法を習得する。部局で運用が開始された大阪大学高圧ガス管理支援システム（OGCS）の使用方法について説明します。

《問合先：総務部 安全衛生管理室 推進第二係 anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp》
《申込方法：【対面・ライブ配信を実施する場合】ICHO 掲示板、KOAN 及び各部局等事務部へのメール通知等で開催案内を送付します。案内に書かれた方法により各自お申し込みください。
【オンデマンド受講を希望する場合】大阪大学 CLE から申込なしで受講いただけます。
受講方法については以下通知をご確認ください。
《ICHO 文書管理》安全衛生管理関係（全学教職員共有）〉推進第一係〉令和 5 年度通知〉20230616_ 春季安全衛生集中講習会のオンデマンド配信開始について》

定員
受講時間
使用言語
研修形式

限定 蛋白質研究所

蛋白研防災安全講習会

200名
1時間
日本語
オンデマンド

講師：未定

オンデマンド **10月頃（日程未定）**

〈キーワード〉防災、消火訓練、安全管理

〈概要〉消防訓練解説動画の視聴により、通報訓練、消火訓練（消火器）、消火訓練（屋内消火栓）、避難訓練を行う。緊急時の対応方法の習得、防災意識の向上を目的として実施する。

《問合先：蛋白質研究所 庶務係 tanpakuken-syomu@protein.osaka-u.ac.jp》
《申込方法：上記問合せ先に同じ》

同和問題（研修題目未定）

制限なし
2時間
日本語
オンライン

講師：未定

オンライン **11月-12月の間で予定**

〈キーワード〉人権問題、同和問題

〈概要〉人権問題（同和問題）に関して正しい理解と認識を深めることを目的とし、同和問題（テーマは未定）について講師よりお話をさせていただきます。

《問合先：総務部 総務課 法規係 soumu-soumu-houki@office.osaka-u.ac.jp》
《申込方法：開催月の 1 か月程前に受講者募集に係る通知を予定》

限定 産業科学研究所

ハラスメント防止に関する講習会

50名
1.5時間
日本語
対面

講師：大阪大学ハラスメント相談室 専門相談員

吹田 **11月～2月 14:00-15:30**

〈キーワード〉ハラスメント防止

〈概要〉講義形式やグループディスカッション等で実例をもとに学習します。
ハラスメントに関する基礎的な事項及び実例等を学ぶことでハラスメントに対する理解を深め、防止を図るとともに、対処方法を学びます。

《問合先：産業科学研究所 総務課 人事係 sanken-soumu-jinji@office.osaka-u.ac.jp》
《申込方法：所内メールにて通知を行い、参加申込をしていただきます》

大学における自律的な化学物質管理に向けた講習

制限なし
1.5時間
日本語
オンデマンド

講師：百瀬英毅（安全衛生管理部 教授）

オンデマンド **年内（未定）**

〈キーワード〉化学物質の自律的管理

〈概要〉化学物質の管理業務に携わる教職員が化学物質の管理体制強化に関する知識を習得し、理解を深め、適切な管理業務の実践につなげることを目的としています。

《問合先：総務部 安全衛生管理室 推進第二係 anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp》
《申込方法：ICHO 掲示板及び各部局等事務部へのメール通知等で開催案内を送付します。案内に書かれた方法により各自お申し込みください》

※掲載内容は8月末時点の情報です。
最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」（FD 関係）にてご確認ください。

マネジメント能力
開発プログラム

限定 新たに採用された教職員・研究員、前年度対象者のうち未受講者

大阪大学新任教職員研修（大学理解研修）

制限なし　2時間　日本語　オンデマンド

講師：西尾章治郎（大阪大学 総長）
金田安史（大阪大学 理事）
田中敏宏（大阪大学 理事）
豊岡宏規（大阪大学 理事）

オンデマンド **～3月31日**

〈キーワード〉ガバナンス、教育、グローバル化、財務状況、社学共創、産学共創、ダイバーシティ＆インクルージョン、研究推進、人事・労務

〈概要〉新任教職員に対して、役員等による講義を行います。
本学の教職員としての自覚と意識の確立を図り、新任教職員として、大学に課せられたコンプライアンス等、必要な基礎的知識を身につけ、職場への適応力を養い、もって、教職員の資質の向上を図ることを目的とします。

《問合先：総務部 人事課 人材育成係　soumu-jinji-ikusei@office.osaka-u.ac.jp **》**
《申込方法：CLE より各自受講してください。受講後アンケートの提出をもって受講完了となります **》**

限定 産業科学研究所

産研メンター制度実施に向けての講演会

制限なし　2時間　日本語　オンデマンド

講師：家島明彦（キャリアセンター 准教授 ）
吉田香奈（広島大学 教育本部 准教授）

オンデマンド **～3月31日**

〈キーワード〉メンタリング、ロールモデル、人材育成、支援、助言、メンティ、メンター

〈概要〉令和5年10月から産研メンター制度を試行的に実施する予定であるところ、メンター制度の概要、制度先行大学における効果等について説明し、産研所属教職員が制度への理解を深めるとともに、制度適用有資格者のメンティ又はメンター候補者への応募を促進させることを目的とします。
また、産研メンター制度を利用しない教職員についても、メンタリング等について知識を得ることにより、部下や学生等への適切な指導に役立てることを目的とします。

《問合先：産業科学研究所 戦略室　sanken-mentor-system@sanken.osaka-u.ac.jp **》**
《申込方法：産業科学研究所内の受講者募集に係る通知をご確認下さい **》**

電気コンセントと電気配線の安全講習

制限なし　1時間　日本語　オンデマンド

講師：百瀬英毅（安全衛生管理部 教授）

オンデマンド **～3月31日**

〈キーワード〉電気コンセント

〈概要〉実験等で安全に電気を取り扱うための基本事項を習得することを目的とします。

《問合先：総務部 安全衛生管理室 推進第二係　anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp **》**
《申込方法：大阪大学 CLE から申込なしで受講いただけます。
受講方法については以下通知をご確認ください。
《ICHO 文書管理》安全衛生管理関係（全学教職員共有）〉推進第一係〉令和 5 年度通知〉20230616_ 春季安全衛生集中講習会のオンデマンド配信開始について **》**

新入教職員安全衛生講習会

制限なし　1.5時間　日本語　オンデマンド

講師：安全衛生管理部 ほか

オンデマンド **～3月31日**

〈キーワード〉安全衛生

〈概要〉新たに本学の教職員となった者を対象に、労働安全衛生規則第35条（雇入れ時等の教育）に基づき、本学における安全衛生管理の基本事項を理解していただくとともに、安全意識の向上、事故・災害発生の防止、健康の保持増進に役立てることを目的としている。

《問合先：総務部 安全衛生管理室 推進第二係　anzen-suisindai2@office.osaka-u.ac.jp **》**
《申込方法：大阪大学 CLE から申込なしで受講いただけます。
受講方法については以下通知をご確認ください。
《ICHO 文書管理》安全衛生管理関係（全学教職員共有）〉推進第一係〉令和 5 年度通知〉20230616_ 春季安全衛生集中講習会のオンデマンド配信開始について **》**

※掲載内容は8月末時点の情報です。
最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」（FD 関係）にてご確認ください。

定員
受講時間
使用言語
研修形式

希望する受講プログラム

受講済 ✓	開催日	プログラム名	カテゴリ	時間数	備考
	/		・教育 ・研究 ・社学連携 ・マネジメント	h	
	/		・教育 ・研究 ・社学連携 ・マネジメント	h	
	/		・教育 ・研究 ・社学連携 ・マネジメント	h	
	/		・教育 ・研究 ・社学連携 ・マネジメント	h	
	/		・教育 ・研究 ・社学連携 ・マネジメント	h	
	/		・教育 ・研究 ・社学連携 ・マネジメント	h	
	/		・教育 ・研究 ・社学連携 ・マネジメント	h	
	/		・教育 ・研究 ・社学連携 ・マネジメント	h	
	/		・教育 ・研究 ・社学連携 ・マネジメント	h	
	/		・教育 ・研究 ・社学連携 ・マネジメント	h	
	/		・教育 ・研究 ・社学連携 ・マネジメント	h	
	/		・教育 ・研究 ・社学連携 ・マネジメント	h	
	/		・教育 ・研究 ・社学連携 ・マネジメント	h	
	/		・教育 ・研究 ・社学連携 ・マネジメント	h	
	/		・教育 ・研究 ・社学連携 ・マネジメント	h	
	/		・教育 ・研究 ・社学連携 ・マネジメント	h	
	/		・教育 ・研究 ・社学連携 ・マネジメント	h	
	/		・教育 ・研究 ・社学連携 ・マネジメント	h	
	/		・教育 ・研究 ・社学連携 ・マネジメント	h	
	/		・教育 ・研究 ・社学連携 ・マネジメント	h	